

**福島県・川俣町で新産業の創造を目指し、産官学が連携  
川俣高等学校で第2回となる「川俣町ドローンスクール」を開催！  
川俣高等学校創立110周年を記念し、ドローンによる人文字空撮を実施**

高品質の絹織物や「川俣シャモ」などの生産地として有名な川俣町にある川俣高等学校（所在地：福島県伊達郡川俣町、校長：山内 義美）で、2018年10月21日(日)に「川俣町ドローンスクール」の第2回目講座が開催されました。



川俣高等学校創立110周年を記念したドローンによる人文字空撮

「川俣町ドローンスクール」は川俣町で新産業創出に向けて、自治体、企業、高校の連携を強化し（産官学連携）、新産業へ対応できる人材育成に取り組み、地元での事業に活用できることを目指して実施するものです。第2回目講座となる10月21日（日）の回では、川俣高等学校公開文化祭と同時開催をいたしました。

当日は本講座に関する概要を講師の内田章さんより説明していただき、始めにドローン実機を用いた基礎フライト(操作時の確認項目の実施)をおこないました。生徒・町民の方々それぞれ機体の操縦をおこない、上空30メートルまでの飛行テストを実施。初めて操縦をおこなった生徒は、「うまく機体上がるか不安だったけれど、まっすぐ飛ばすことができ嬉しかったです。」と話していました。

その後校舎に戻った後は、シミュレーターを用いたフライト体験を実施。飛行場所や機体の種類を選び、風速などを細かく設定することで、実際のフライトと変わらない状況で操作をおこなうことが可能となり、生徒たちも夢中で操作をおこなっていました。

講座の最後には川俣高等学校創立110周年を記念して、学生・教職員・町民の方が参加した、ドローンによる人文字空撮をおこないました。

川俣町では「川俣町ドローンスクール」を皮切りに、今後も新産業創出に向けた取り組みを支援してまいります。

▼ドローン空撮の様子(動画)はこちらからご確認ください。

[https://www.youtube.com/channel/UCE-mCJn CpDrseOZ2\\_o054wQ](https://www.youtube.com/channel/UCE-mCJn CpDrseOZ2_o054wQ)



ドローン実機を用いた基礎フライト



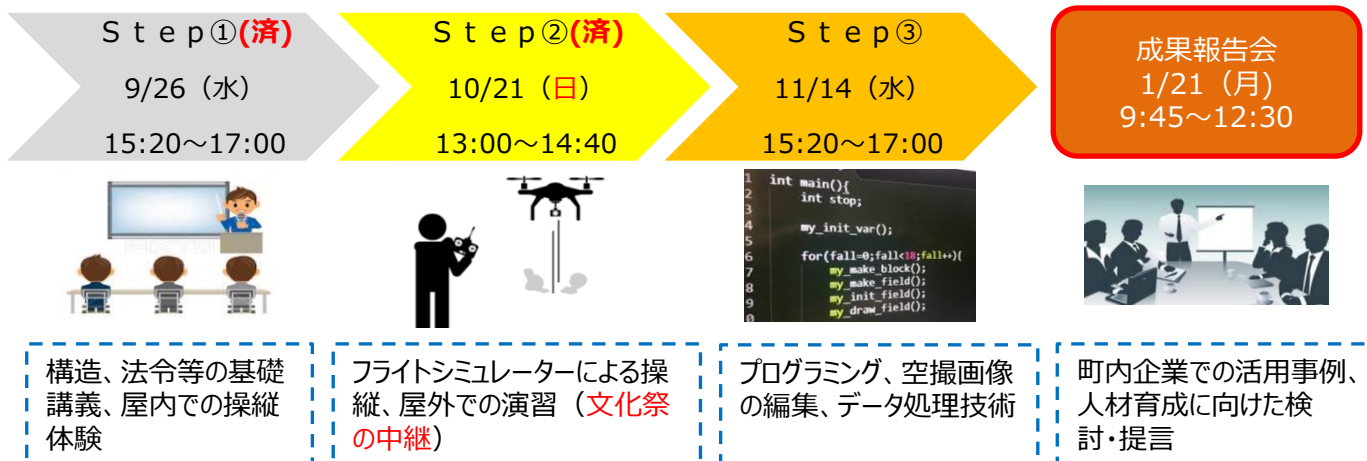
シミュレーターを用いたフライト体験

## ■「川俣町ドローンスクール」について

「川俣町ドローンスクール」は、川俣町で新産業創出に向けて、自治体、企業、高校の連携を強化し、新産業へ対応できる人材育成に取り組み、地元での事業に活用できることを目指して実施するものです。9月26日（水）の第1回目を皮切りに、11月までで合計3回の講座を開催します。1月21日（月）には本スクールを通じた成果報告会を行い、ドローンスクールを通じて学んだ内容をどう事業に活かしているのか、高校生の視点で検証をする内容になっており、若い意見が取り入れられる非常に期待の持てるプログラムになっています。

なお、この事業は川俣町商工会や学校同窓会などが集まって結成されている「川俣町の新産業創造を考える会」が主催となって進めるもので、「平成30年度地域経済産業活性化対策費補助金（被災12市町村における地域のつながり支援事業）」の採択を受け、福島県や川俣町、福島県産業振興センター、福島民報社、福島民友新聞社の後援を受けて推進していくものです。一般社団法人福島新工エネルギー総合研究所（所在地：福島県郡山市、理事長：内田 章）から講師を招き、講座を実施いたします。

## ■講座の予定



## ■川俣町について



川俣町公式キャラクター「小手姫様」

川俣町は、東北の玄関口、福島県北部に位置する阿武隈山系の丘陵地帯にあり、里山と清流に囲まれ、四季折々の素晴らしい眺めがあります。川俣特産の羽二重は江戸から昭和初期までの日本の近代化を支え、現在も世界一薄いシルクとして国内外問わず愛用されています。農業の分野では、米や野菜、花の栽培が活発で、近年は福島県のブランド認証地鶏である「川俣シャモ」が注目されています。その他、からりこフェスタやシャモまつり、国内最大のフォルクローレ・フェスティバル「コスキン・エン・ハポン」など、毎年多くのイベントが開催されています。

## ■川俣高等学校について



川俣高等学校は、今年で創立110年目を迎えます。2万1千名を超える卒業生を輩出し、地域と社会の発展に大きく貢献してきた県内でも有数の歴史と伝統を誇る高等学校です。また、県内唯一の普通科と工業科の併設校でもあります。さらに、福島・国際研究産業都市（イノベーション・コースト）構想に基づくトッパーリーダー育成の対象校に中通りで唯一選ばれており、東日本大震災及び原子力災害によって失われた浜通り地域等の産業を回復するため、新たな産業基盤の構築を目指す人材育成に力を入れています。